

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	
	<b>全体計画</b>		平成23年度	～	平成27年度	<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>		堀内
<b>事務事業名</b>	4080 母子・父子家庭支援事業											
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課											
<b>施 策</b>	02020900 子育て環境の整備											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030207 民生費・児童福祉費・母子・父子福祉費										
	<b>事業</b>	010000 母子・父子家庭支援事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
母子・父子家庭の福祉の推進を積極的に行うことにより地域福祉の向上を図る。						母子・父子自立支援員を設置し、母子、父子家庭の生活全般にわたる相談と自立に必要な指導助言を行う。母子、父子の職業能力の開発のため、講座修了者に支援を行う等母子、父子家庭への支援を行う。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 555世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 1人500,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 553世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 2人1,000,000円</li> <li>・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人2,961,000円</li> </ul>
平成24年度 実績	平成25年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 535世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 1人500,000円</li> <li>・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人3,484,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 554世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 2人1,000,000円</li> <li>・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 3人3,974,000円</li> </ul>
平成26年度 実績	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 555世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 4人2,000,000円</li> <li>・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 4人5,292,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭数 560世帯</li> <li>・ 村石母子、父子家庭特別奨学金給付 2人1,000,000円</li> <li>・ 母子家庭高等技能訓練促進費給付 2人2,992,000円</li> </ul>

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		12,584	11,243
特定財源	国庫支出金	4,548	4,115
	都道府県支出金	0	1,058
	地方債	0	0
	その他	4,001	1,001
一般財源		4,035	5,069
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,410.8	3,410.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		15,994.8	14,653.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	16	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	375	母子福祉資金償還金利子補給金、母子・父子家庭親子の集い補助金ほか
その他	12,193	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	謝礼 212千円
11節 需用費	0	消耗品費 16千円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	463	母子福祉資金償還金利子補給金 3千円 母子・父子家庭親子の集い補助金 460千円 ほか
その他	10,780	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	ひとり親家庭への支援、自立促進のために必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	相談業務や家庭訪問などにより、自立促進等の確な支援に心がけているが、他の施策と連携して実施することが有効となる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	相談業務等が主な業務となっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

相談者の立場を常に尊重し、助言や制度の活用により、子育て環境の改善と自立の促進に努めている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ひとり親家庭への支援と自立の促進の必要性はますます高まっているが、他の施策との連携により効果ある事業とすることが重要である。		他の施策との連携により、ひとり親家庭の自立促進に向けた支援が重要。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	